

資料Ⅰ 教育のデジタル化に関する推進体制

教育委員会及び学校の管理職の役割

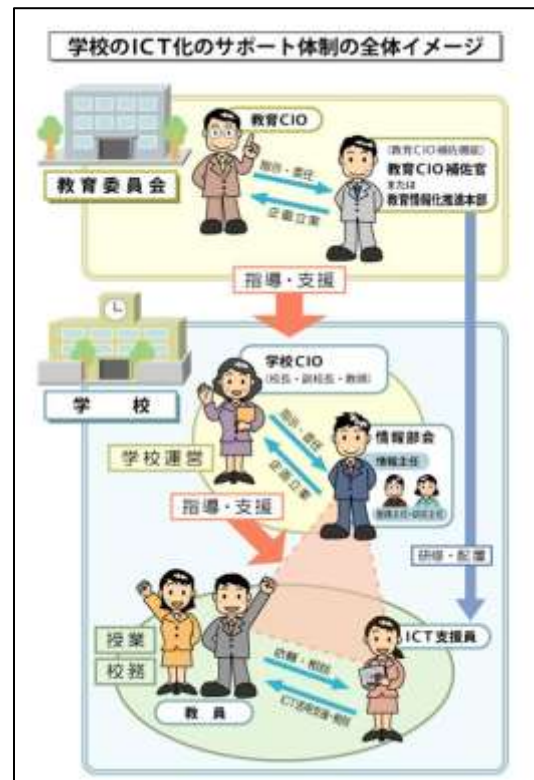
教育のデジタル化を円滑に推進するためには、そのための体制づくりと果たすべき役割を明確にする必要があります。ここで、教育委員会（特に、教育ＣＩＯ（Chief Information Officer）としての機能）と学校における管理職（学校ＣＩＯ）の役割についてリストを示します。

	教育委員会(教育CIO)	学校(学校CIO)
教育の情報化のビジョン	・教育の情報化のビジョンの策定、振興基本計画等への盛り込み ・総合教育会議での協議・調整	・教育の情報化のビジョンの普及 ・学校の実態に応じた重点的な取組
推進体制の整備	・教育CIO、教育CIO補佐官の連携による情報化の推進 ・推進担当部署の設置と組織横断的な取組 ・学校の情報化を支援	・校長、副校長(教頭)、教務主任によるリーダーシップの発揮 ・情報化を担当する校務分掌の位置付け
情報化による授業改善と 情報教育の充実	・モデルカリキュラムの開発 ・調査研究の推進	・教育課程への位置付け ・実践と評価
学校のICT環境の整備	・整備計画の策定とそれに基づく整備 ・実態調査の実施・分析 ・システムの管理・保守の委託	・運用・配置・活用の工夫
校務の情報化	・システムの整備	・効率化、情報共有の実現
リスクマネジメント	・教育情報セキュリティポリシーの策定と監査 ・個人情報保護や情報漏洩事故への対応	・教育情報セキュリティポリシーの遵守、運用
情報公開・広報・公聴	・教育委員会による情報発信 ・パブリックコメント制度の活用 ・コンテンツの配信	・学校ウェブサイト等による情報発信 ・保護者・地域住民との双方向コミュニケーション
人材育成・活用	・管理職、情報化担当教員等の研修 ・外部人材の活用	・校内研修 ・ICT活用指導力の育成
ICT支援員	・支援体制の整備 ・ICT支援員の雇用・配置	・ICT支援員の活用
評価	・事業評価・学校評価	・自己評価

教育委員会が、総括的な責任をもって域内における学校のICT化を進めるための教育CIOとしての役割は非常に大きいですが、実際に総括的な責任をもって学校のICT化を進めるのは、学校CIOとしての管理職です。また、実際に学校を動かすのは管理職であり、特に校長です。校長は、ICT活用の意義をよく理解し、リーダーシップを発揮して校内のICT化を推進していく体制を整える必要があります。大切なのはスキルではなく、理解と周知とマネジメント力です。また、常時、校内の教職員にデジタル化の重要性・必要性を正しく伝えるなど、校内でリーダーシップを発揮していくことが求められます。

関連資料

- ・教育委員会・学校における情報化の推進体制（文部科学省）



教育委員会と学校が連携した教育の情報化の推進体制

2 ICT支援員をはじめとした外部人材の活用

学習指導要領で求める「情報活用能力」の育成のためには、必要な環境を整える必要があります。それらを活用した授業の準備や機材の保守など、学校や教師に大きな負担が発生します。しかし一方で、学校では教員の負担が社会的な問題にもなっており、「教員の働き方改革」の必要性が注目を集めています。このような課題の解決策として、大きな可能性をもっているのがICT支援員をはじめとした外部人材の活用です。「GIGAスクールサポーター」、「ICT支援員」などの外部人材の概要について、以下に示します。



GIGAスクールサポーター、ICT支援員の概要

また、文部科学省は、令和4年度ICT活用アドバイザー事業の後継事業として、令和5年度は、学校DX戦略アドバイザー事業で課題を抱える自治体・学校に特に集中的に支援を行うなど、地域間・学校間の格差解消に向けた取組を実施しています。以下の事業概要及びポータルサイトを参考にしてください。

文部科学省
自治体支援委託事業

学校DX戦略アドバイザー事業

2023.4

本事業は、自治体や教育委員会等の設置者等からのご相談、お問合せを対象としています。保護者の方からの直接のご相談等はご遠慮ください。

1. 自治体や教育委員会等からの相談に対応

疑問や相談を**アドバイザー事務局**に連絡

adviser-info@japet.or.jp
0570-033-335 平日9時～17時30分

アドバイザー事務局が、全国の事例等をもとに、**直接回答!**

専門的な知見を持つアドバイザーが、1人1台端末の効果的な活用等に関する相談等に、支援・助言を行います。詳しくはHPでご確認ください。

アドバイザーを選定し、教育委員会等に連絡

自治体等を支援
自治体が抱える課題解決に向けて、具体的な支援を実施

リーディングDXスクール指定箇所・指定校を支援

1人1台端末の日常使いの事例創出に向け、全国で指定された指定箇所・指定校を訪問するなど助言・支援を実施

運営支援センターの支援

南域等ごとに設置された協議会に準じ、全国の事例を踏まえた支援・助言を実施

高等学校を支援

令和4年度から学年進行で実施となる学習指導要領を踏まえた端末の活用等を具体的に支援

学校DX戦略アドバイザー

専門的な知見を持つ
の助言・支援により地域間格差の解消、教育の情報化を一層促進。

2. オンライン研修会開催

全国で課題であると思われる内容をテーマに、その解決策、取組実践事例や工夫等を紹介します。(年間10回を予定)
各回のテーマ、講師、申込方法等についてはWebページをご確認ください。

★参加者からの質問を受け付けますので、こちらもぜひに活用ください。

3. ICT人材確保のための事業者等の紹介

GIGAスクールサポーター、ICT支援員等の人材の確保に向けて、自治体に対し人材の紹介や派遣等を行っている事業者の情報を掲載します。

ご確認ください!

※ 契約の条件(事業費に求める具体的な内容、金額等)については各事業者に確認をしてください。

学校DX戦略アドバイザー事業

関連資料

- ・ [教育の情報化に関する外部人材](#) (文部科学省)
- ・ [学校DX戦略アドバイザー事業ポータルサイト](#) (文部科学省)